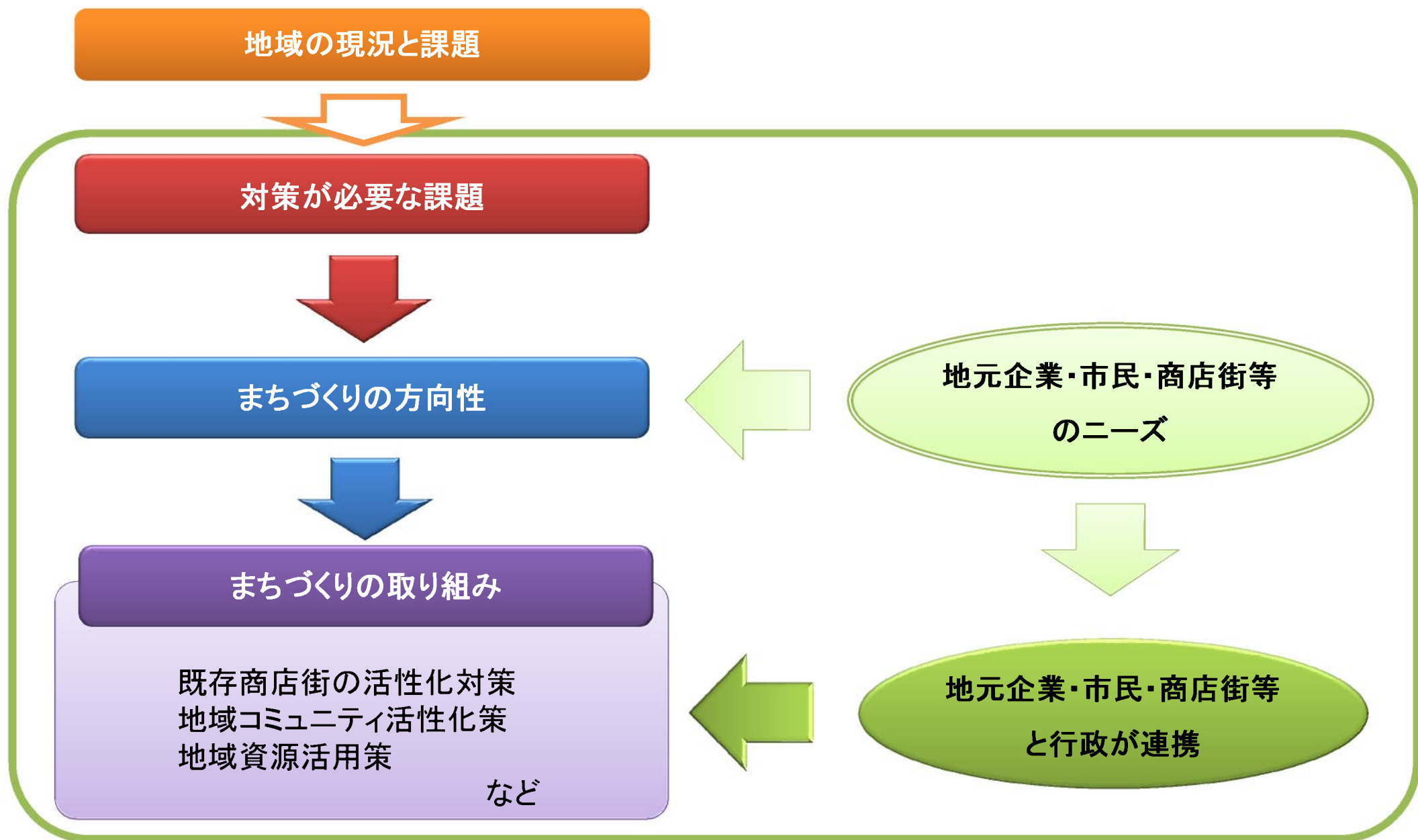


課題解決に向けた取り組みについて

1 まちづくりの方向性の検討



沿線地域全体の現況と課題

改善すべき要素

- 未整備の都市計画道路が多い
- 踏切を起因とした周辺道路の渋滞
- 渋滞により駅へアクセスするバス路線が少ない
- 既存の住宅地で高齢化が進んでいる
- 火災による燃え拡がり易さや建物倒壊といった災害リスクがある
- 商店街等の販売額などが減少し、駅周辺の賑わいや魅力の低下

連続立体交差事業の推進
により改善

×

沿線まちづくりの推進
により改善

活かすべき要素

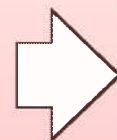
- 各駅周辺に商店街が立地
- 研究開発機関が多く集積
- 多摩川などの自然環境資源や称名寺などの地域資源が豊富
- 各駅利用者の交通手段の90%以上が徒歩
- 再開発事業などによる都市型住宅の集積と人口増加、ファミリー世帯の増加
- 各駅の乗車人員の増加

魅力と活力にあふれた
まちづくりの実現に向けた
取り組みの推進

鹿島田駅周辺地区の現況と課題

改善すべき要素

- 踏切がボトルネックとなり朝夕渋滞が発生
- 踏切横断時に、歩行者と自転車が錯綜し、危険な状況



連続立体交差事業の推進
により改善

- 商店街が東西に分断
- 住宅地(鹿島田1~3丁目)で人口が減少
- 建物倒壊や道路閉鎖といった災害リスクの懸念
- 路線バスの運行本数が少ない
- 駅前に憩える空間やイベントの開催や防災目的で使用できる広場がない



沿線まちづくりの推進
により改善

活かすべき要素

- 鹿島田駅の東西に商店街が形成
- 様々な企業が周辺に集積
- 夢見ヶ崎動物公園や二ヶ領用水などの自然環境や称名寺などの地域資源が豊富
- 鹿島田・新川崎駅間に歩行者デッキが整備されている
- 再開発事業などで都市型住宅が集積し、新川崎地区で人口とファミリー世帯が増加
- 新川崎駅の交通広場内にバス・タクシーの乗降場が整備されている

平間駅周辺地区の現況と課題

改善すべき要素

- 踏切がボトルネックとなりガス橋通りで朝夕渋滞が発生
- 踏切付近は歩道が未整備で歩行者、自転車の安全性が確保できていない



連続立体交差事業の推進
により改善

- 駅西側から商店街へアクセスしにくい
- 住宅地(鹿島田1~3丁目、上平間)で人口が減少
- 保育所などの子育て支援施設が少ない
- 駅前に憩える空間やイベントの開催や防災目的で使用できる広場がない
- 建物倒壊と火災による燃え拡がり易さといった災害リスクが高い
- 路線バスの運行本数が少ない
- 駅前にバス・タクシーの乗降場が整備されていない



沿線まちづくりの推進
により改善

活かすべき要素

- 様々な企業が周辺に集積
- 駅東側に商店街が形成
- ニヶ領用水の桜並木や緑道などの自然環境や無量寺、神明大神などの地域資源が豊富

向河原駅周辺地区の現況と課題

改善すべき要素

- 中丸子地区から向河原駅へアクセスしにくい



連続立体交差事業の推進
により改善

- 南武線に沿って計画されている道路が未整備
- 保育所などの子育て支援施設が少ない
- 建物倒壊と火災による燃え拡がり易さといった災害リスクが高い
- 駅東側の駅前道路は通学路となっているが、歩道が未整備で買物客や児童など歩行者の安全性が確保されていない
- 多摩川までのバリアフリー動線や案内サインなどが整備されていない



沿線まちづくりの推進
により改善

活かすべき要素

- 駅東側に商店街がある
- NECなどの企業立地や武蔵小杉周辺の再開発事業が進んでいる
- 多摩川までの距離が近い
- 駅前に広場公園が整備され、武蔵小杉駅に向かって歩道や民地内空地が整備されている
- 駅の東西で街並みが大きく異なる
- 高齢化率が低く、人口増加が進んでいる

まちづくりの方向性のキーワード

回遊性の強化

地域の魅力向上

商店街の活性化

地域ニーズに対応
した機能集積

コミュニティ機能
の創出

バス路線の充実

居住環境の改善

課題解決に向けた取り組み

～具体的な事例の紹介～

事例

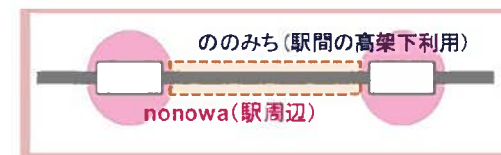
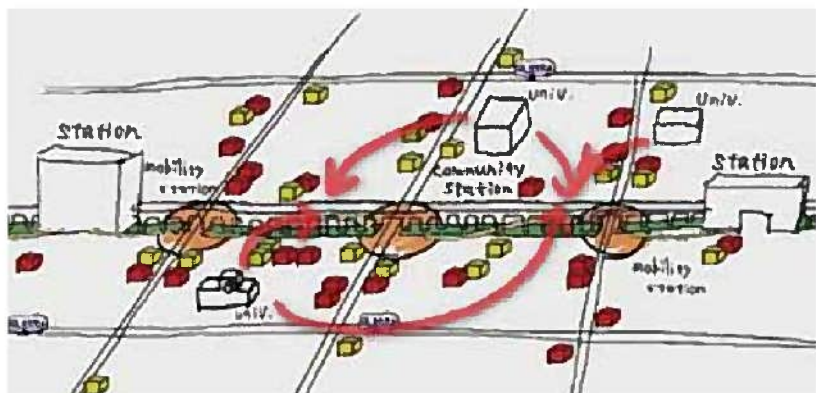
回遊性の強化

コミュニティ機能の創出

JR中央線 中央ラインモール構想

連立事業と併せて、JRが駅と駅間の高架下を統一したコンセプトで一体的に開発し、「駅」と「街」をつなげ、「地域の顔としての駅」の魅力をアップさせる構想。

東小金井～武蔵境では駅周辺に商業施設(nonowa)を整備し、駅間の高架下を回遊空間『ののみち』として整備することで、分断されていた街が高架によってつながり、また魅力ある回遊空間が駅から高架下に広がることで駅間もつながり、その交差点ではコミュニティの創出が図られるような仕掛けを誘導している。



回遊性を向上させる工夫



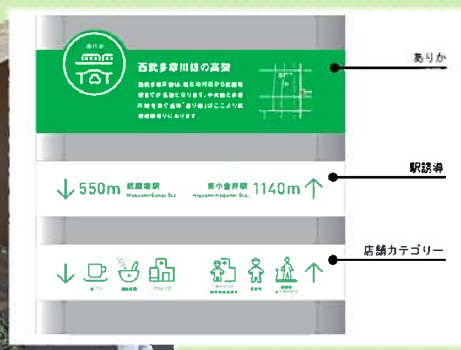
通路に併設したコミュニティガーデン



地域住民が自由に使えるフリースペース



地域資源や施設情報をわかりやすく表示したサイン計画



事例

商店街の活性化

はしご酒イベント『せんべろ』

参加店がイベント用の定額メニューを用意し、客にサービスを提供し、利用客に各店舗を回ってもらうことで、商店街の賑わいや新規顧客の開拓に繋がる取組として、東京をはじめ全国の様々な商店街で実施されている。

川崎市内でも商店街活性化策として行われているが、武蔵新城駅周辺で行われている『1000Bero』では南武線の駅南北の商店街が合同して実施している。



『1000Bero』 武蔵新城駅周辺南北商店街

まちゼミ

店主、店員が講師となって、技術や知識を無料(材料費は別途必要な場合もある)で客に提供するイベント。新たな顧客とのコミュニケーションやニーズ発見など、今後の事業展開に活かす取組として実施されている。

もともとは、愛知県岡崎市の中心市街地活性化のための事業として行われているものであったが、全国の商店街で活性化事業として行われるようになっており、川崎市内でも5ヶ所で公式まちゼミが実施されている。

『川崎大師まちゼミ』では、大師地区商連に加盟する6商店街の合同で行われている。



『川崎大師まちゼミ』

事例

地域の魅力向上

地域ニーズに対応した機能集積

コミュニティ機能の創出

淡路町二丁目西部地区第一種市街地再開発事業 (ワテラス・東京都千代田区)

東京都千代田区御茶ノ水駅周辺における再開発事業において、地域貢献施設として地域のニーズを反映したコミュニティ施設や広場、公園が整備された。

【地域貢献施設】

- ・サロン(ワークショップ、料理教室などに利用できるスペース)
- ・ワテラスコモンホール(講演会、演奏会などに利用できるスペース)
- ・屋外ワテラス広場(マルシェや屋外イベントなどに利用できる広場)
- ・神田花暦園(敷地内緑地を区立公園と一体で整備した庭園で整備前にあった樹木などを移植している)
- ・スチューデントハウス(神田祭など地域活動の担い手不足などの地域課題の解決のため、近隣相場よりも低家賃とし、居住条件として地域活動への参加を義務付けとしている学生用住宅)



サロン



神田花暦園



ワテラスコモンホール



スチューデントハウス

月額賃料

65,000円[※]

管理費10,000円

- ・36人の仲間と暮らす
- ・完全個室のプライベート住空間
- ・都心の注目スポットに住む
- ・仲間と楽しむコミュニティ施設

※一般社団法人 淡路エリアマネジメントの指定する地域活動・ボランティアを行った場合に限り。

事例

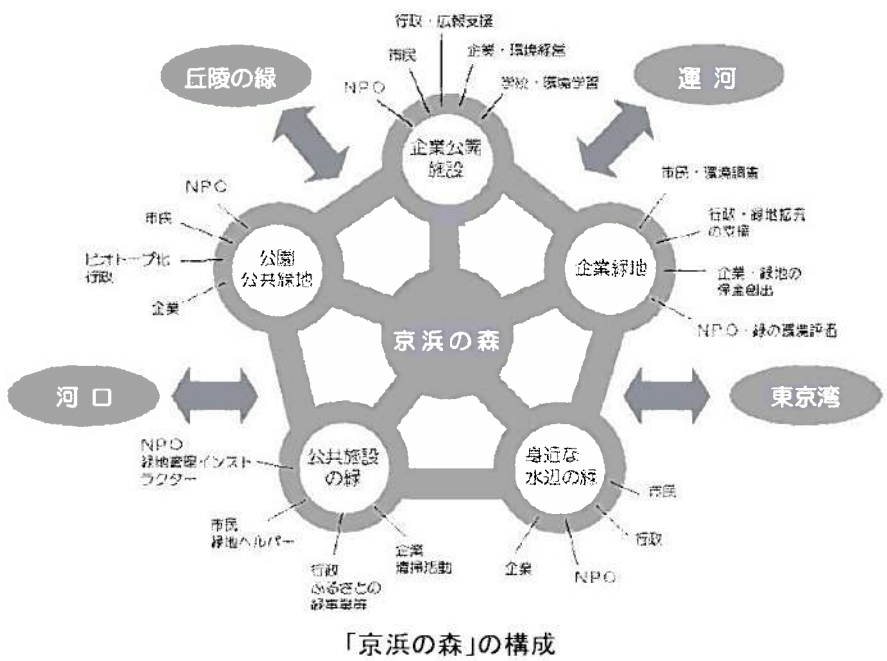
地域の魅力向上

横浜市『京浜の森づくり』構想

横浜市では2005年から、京浜地区の企業の緑地や市民に公開されている施設を、地域の重要な財産と捕らえ、公共の緑や水辺などと併せて、企業・市民などと行政が協働して緑の拡充・活用を推進し、未来に引き継ぐ京浜の森づくりを提唱している。

京浜の森づくりの先導地区として、末広地区での展開に取り組んでおり、地域の緑や海に開かれた水際空間などの魅力を活かして、地区の緑の量や質を確保し、また、公共の緑と企業緑地を相互に連携させることにより地域環境や防災等に配慮した公共・公益空間を確保する活動を行っている。

マツダR&Dセンター横浜は、この構想に賛同し、敷地内にビオトープを設置し、トンボなどの水辺の生き物の生息環境を整備し自然再生・緑の拡充に取り組んでいる。



「京浜の森」の構成



末広地区「緑の将来像」



マツダR&Dセンターのビオトープ



事例

商店街の活性化

地域の魅力向上

台東モノまち協会

東京都台東区の『カチクラ』エリア(御徒町～蔵前～浅草橋にかけての2km四方の地域)に関わる企業や個人がネットワークを形成して、地域性、伝統を活かしてエリアの活性化、情報発信の向上を図る活動。

【主な活動内容】

「モノマチ」:古くから製造/卸の集積地としての歴史をもつカチクラエリアを歩きながら、「街」と「ものづくり」の魅力に触れる会員が主催するイベント。(年1~2回開催・今年のイベントでは3日間で10万人が来場)



- ・まち歩きスタンプラリー
- ・職人ツアー(エリア内の職人の工房の見学・体験ツアー)
- ・下町銭湯体験
- ・ものづくりワークショップ
- ・フードコートinおかず横丁(老舗商店街をフードコートとするイベント)



「モノマチ」開催の様子(おかず横丁)



「モノマチ」開催の様子(ワークショップ)



「モノマチ」開催の様子(ワークショップ)



「モノマチ」開催の様子(職人ツアー)

事例

商店街の活性化

地域の魅力向上

“史跡や緑を活かした快適なまちを目指す”協働のまちづくり (愛知県豊田市 桜町ほうだら会)

豊田市が策定した都市再生整備計画に基づき駅周辺のまちづくりが進められているなか、駅前商店街振興組合が商店街の活性化計画を策定し、街並みづくりへの支援を求め市や商工会議所などと連携する協議会を設立し、商店街の道路整備やファサード整備の検討を行った。

- ・道路の形態、舗装の素材や色、街頭デザインや街路樹の樹種と配置など道路整備のあらゆる事項についてワークショップにより検討が行われた。
- ・検討地区は蔵や桜城址などの歴史的資産が残り、商店街は神社の参道として現在も利用されるものであったため「現代の参道」をテーマとして、ユニバーサルデザインに配慮した道の整備を行うこととなった。
- ・道路整備に住民意見を反映したことで、まちへの愛着が現れ、協議会は現在住民の自主提案や協定づくりの検討の場となっている。
- ・道路整備によって、従前より行われていたイベント時の歩行者が約1割増加した。

整備前の道路



整備後の道路



事例

地域の魅力向上

地域ニーズに対応した機能集積

企業内保育所による地域貢献(企業主導型保育事業)

様々な企業において女性の活躍推進や従業員への福利厚生などを目的として企業内保育所の整備が行われているが、従業員用の保育所整備が結果として地域の保育需要の減少に繋がるといった面もあり設置そのものにも地域貢献効果がある。

内閣府の子育て支援制度として定められた企業主導型保育事業制度を活用するなどにより、就業者だけでなく地域住民にも保育利用が可能な保育所の整備が全国で始まっている。



<タムロンキッズ>

埼玉県の本社敷地内に企業内保育所を整備し、地域からの入園枠を設け、また病時保育にも対応している。

休日には園庭を地域開放するなども行っている。



<ダイナシティ保育園>

神奈川県小田原市のショッピングセンター内に企業内保育所を整備し、定員の半分を地域から受入れを行っている。

保育時間はショッピングセンターの営業時間に準拠するため月～日、21時までの保育に対応。

【企業主導型保育事業制度】

子ども・子育て支援法の改正によって、企業内保育所の設置により、多様な働き方に対応した保育サービスの拡大と地域の待機児童の解消を図ることを目的に企業の保育所設置に助成を行う制度。

平成29年5月時点で、全国で871施設に助成が認められている。

なお、川崎市内では、6施設がこの制度の助成を受けている。

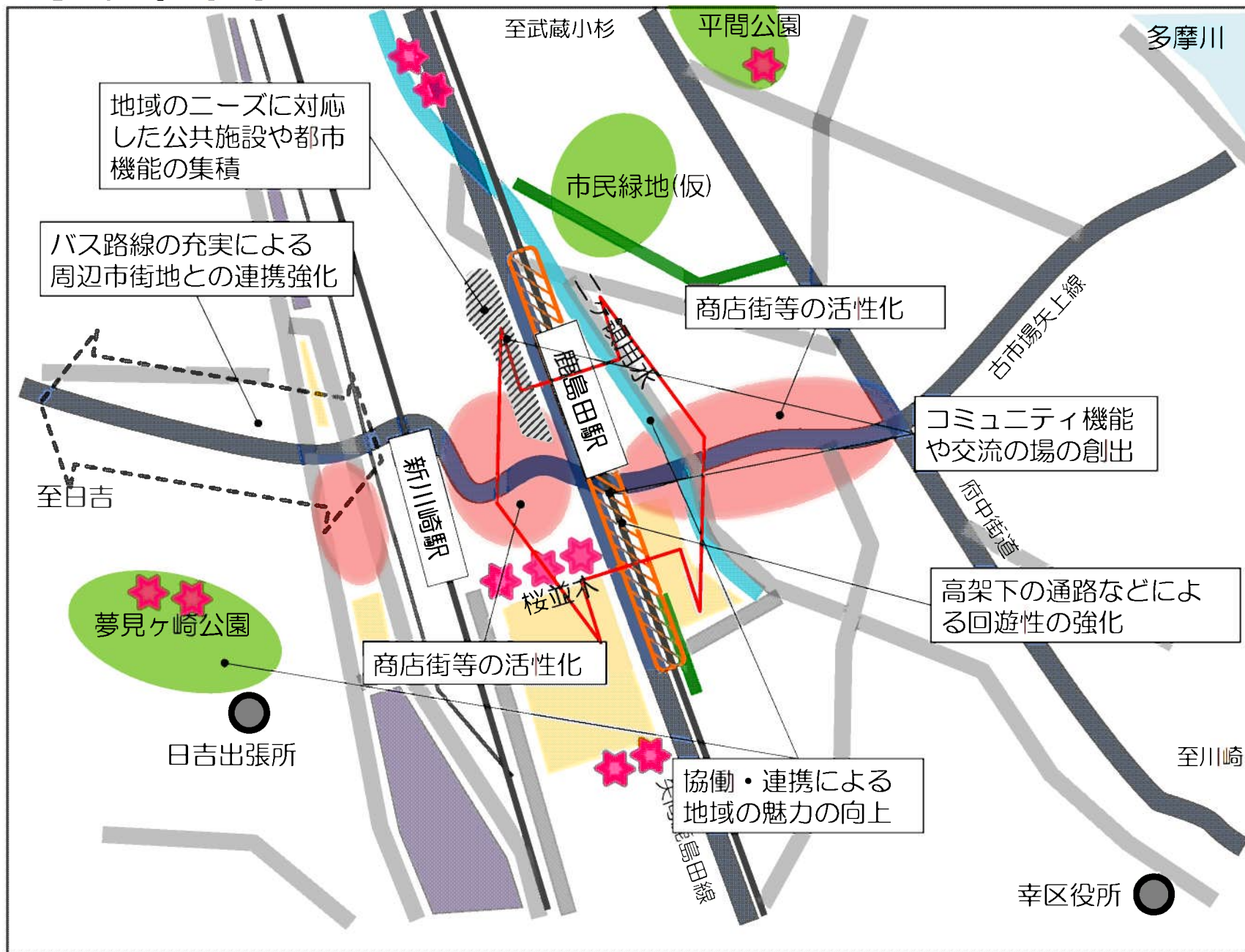
※制度による保育所は無認可保育所となる

課題解決に向けた取り組み

～各駅周辺におけるまちづくりの方向性(案)～

各駅周辺におけるまちづくりの方向性

(1) 新川崎・鹿島田駅周辺地区



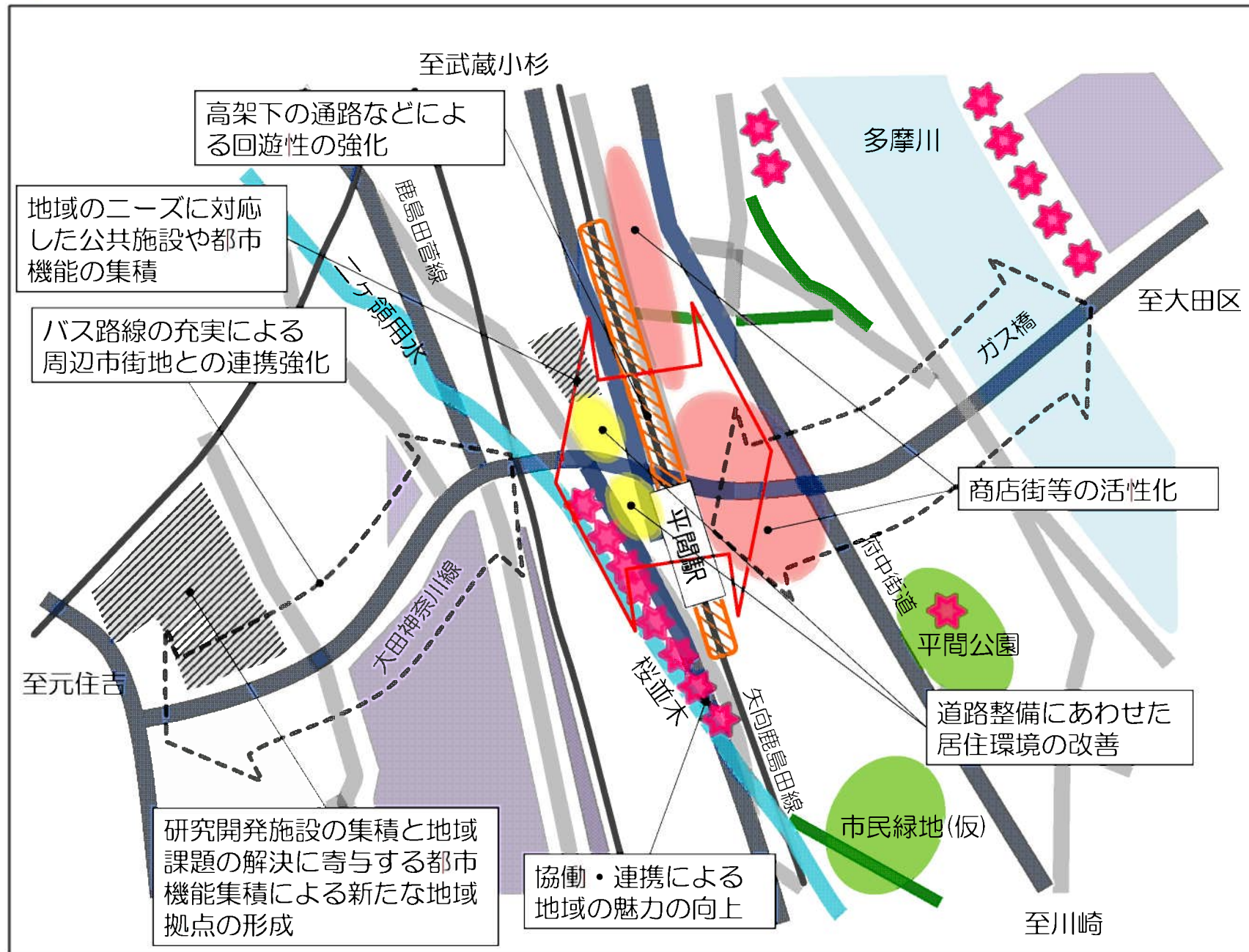
各駅周辺におけるまちづくりの方向性

(1) 新川崎・鹿島田駅周辺地区

- 高架下の道路や広場を整備することで、東西に分断された市街地や商店街をつなぎ、駅周辺の回遊性を高め、東西市街地の交流を促進します。また、賑わいの創出を高める核となる商店街の活性化に向けた取り組みを行います。
- 民有地の土地利用転換時期を捉え、民間活力による再開発事業などを誘導し、旧市街地などの機能更新を促進することで、防災性の向上や地域のニーズに対応した道路などの公共施設の整備や駅の拠点性向上に寄与する都市機能の集積に取り組めます。
- 通勤・通学利用者や周辺に集積する研究開発施設や企業を訪れるビジネスパーソンなど、多様な人が利用する駅であることから、様々な目的で利用できるコミュニティ機能の充実や交流を促す取り組みを推進します。
- 地域の魅力やまちの価値を高めるために、夢見ヶ崎公園や二ヶ領用水、桜並木といった既存の地域資源を活用した新たな地域資源の創出に取り組むとともに、地域を訪れる多様な人に、その魅力を発信する仕組みづくりを地域住民、企業などと協働・連携して進めます。
- 連続立体交差化による踏切除却や都市計画道路の整備により駅周辺の交通混雑の緩和を図り、バス路線の駅へアクセス性、定時性・速達性を向上させることで、バス交通の充実と駅利用者の利便性向上を図ります。さらに、東急東横線の日吉駅周辺など、新たな地域と連携を図ることで、地域に新たに人を呼び込み、賑わいや拠点性を高めます。

各駅周辺におけるまちづくりの方向性

(2) 平間駅周辺地区



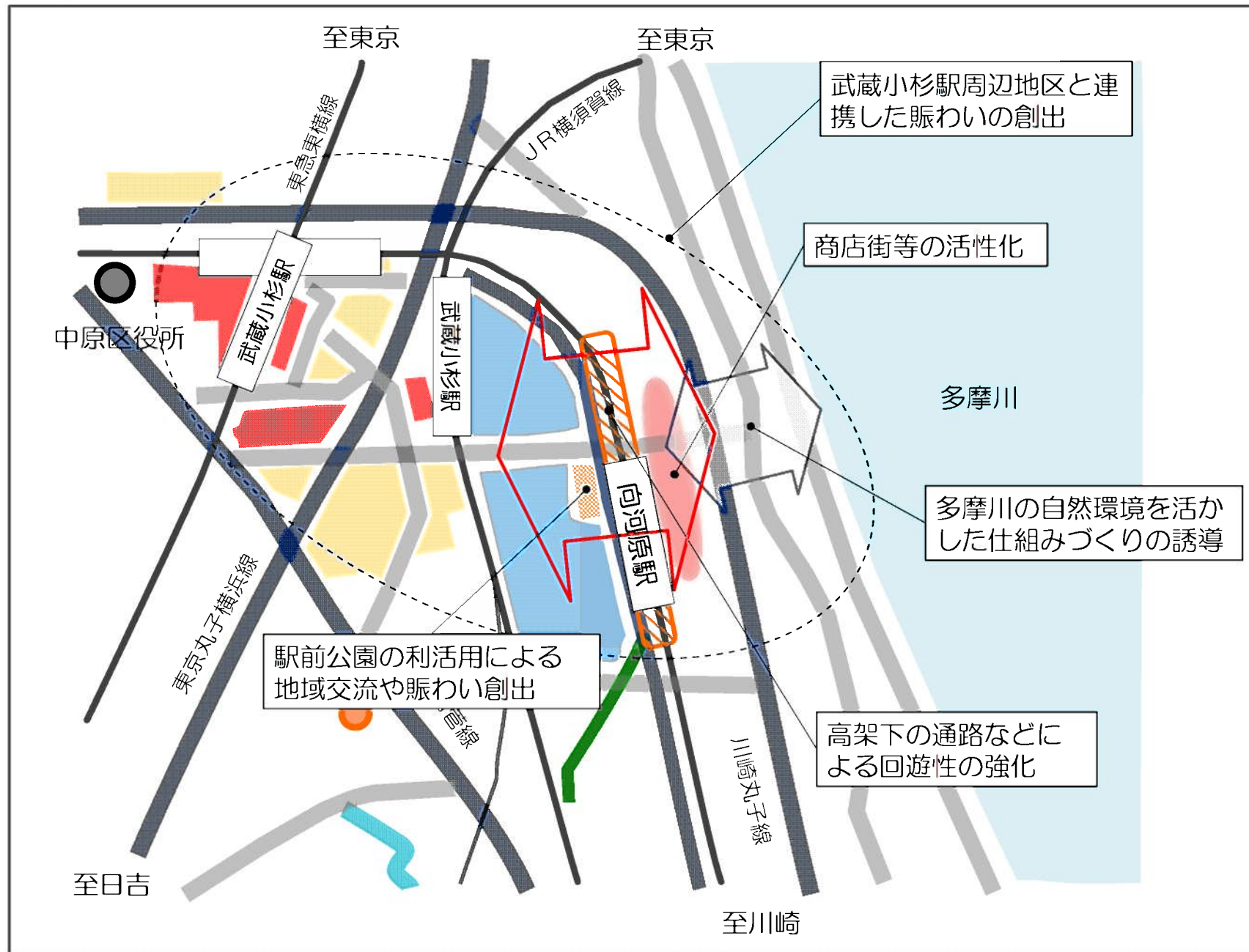
各駅周辺におけるまちづくりの方向性

(2) 平間駅周辺地区

- 高架下の道路や広場を整備することで、東西に分断された市街地や商店街をつなぎ、駅周辺の回遊性を高め、東西市街地の交流を促進します。また、賑わいの創出を高める核となる商店街の活性化に向けた取り組みを行います。
- 民有地の土地利用転換時期を捉え、民間活力による再開発事業などを誘導し、旧市街地などの機能更新を促進により、防災性の向上や地域のニーズに対応した道路などの公共施設の整備や地域の拠点性向上に寄与する都市機能の集積に取り組めます。
- 通勤・通学利用者や周辺に集積する研究開発施設や企業を訪れるビジネスパーソンなど、多様な人が利用する駅であることから、様々な目的で利用できるコミュニティ機能の充実や交流を促す取り組みを推進します。
- 地域の魅力やまちの価値を高めるために、二ヶ領用水と川崎堀の桜並木といった既存の地域資源を活用した新たな地域資源の創出に取り組むとともに、地域を訪れる多様な人に、その魅力を発信する仕組みづくりを地域住民、企業などと協働・連携して進めます。
- 連続立体交差化による踏切除却や都市計画道路の整備により駅周辺の交通混雑の緩和を図り、バス路線の駅へアクセス性、定時性・速達性を向上させることで、バス交通の充実と駅利用者の利便性向上を図ります。さらに、東急東横線の元住吉駅周辺や東急多摩川線沿線地域など、新たな地域と連携を図ることで、賑わいや拠点性を高めます。

各駅周辺におけるまちづくりの方向性

(3) 向河原駅周辺地区



各駅周辺におけるまちづくりの方向性

(3) 向河原駅周辺地区

- 高架下の通路や広場を整備することで、東西に分断された市街地や商店街をつなぎ、駅周辺の回遊性を高め、東西市街地の交流を促進します。また、賑わいの創出を高める核となる商店街の活性化に向けた取り組みを行います。
- 民有地の土地利用転換時期を捉え、民間活力による再開発事業などを誘導し、旧市街地などの機能更新を促進により、防災性の向上や地域のニーズに対応した道路などの公共施設の整備や地域の拠点性向上に寄与する都市機能の集積に取り組めます。
- 隣接する武蔵小杉駅周辺地区の賑わいや活気、拠点性を向河原駅周辺地区まで波及させるために、武蔵小杉駅周辺地区との連携・まちの連続性を意識した施設誘導や仕掛けづくりを地域住民や企業などと連携して進めます。
- 駅西側に整備されている向河原駅前公園などを活用した地域主体のイベントを開催するなどにより、地域の交流や賑わいの創出などを誘導します。
- 多摩川に近接していることから、多摩川へのアクセス動線やサイン整備の誘導など、多摩川の自然環境をまちづくりに活かす仕組みづくりを地域住民、企業などと協働・連携して進めます。